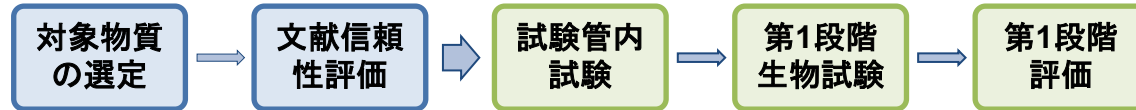


ダイアジノン (CAS no. 333-41-5)

【現在の評価段階】 第1段階評価終了 (第2段階生物試験は保留)



文献信頼性評価結果

| 示唆された作用 | | | | | | | |
|---------|---------|--------|---------|---------|----------|--------|------|
| エストロゲン | 抗エストロゲン | アンドロゲン | 抗アンドロゲン | 甲状腺ホルモン | 抗甲状腺ホルモン | 脱皮ホルモン | その他* |
| ○ | ○ | ○ | ○ | — | — | — | ○ |

○ : 既存知見から示唆された作用

— : 既存知見から示唆されなかった作用

*その他 : 視床下部—下垂体—生殖腺軸への作用等

試験管内試験結果

| 試験対象とした作用モード | | | | | | | |
|--------------|---------|--------|---------|---------|----------|--------|------|
| エストロゲン | 抗エストロゲン | アンドロゲン | 抗アンドロゲン | 甲状腺ホルモン | 抗甲状腺ホルモン | 脱皮ホルモン | その他* |
| P | N | N | N | — | — | — | — |

P : EC₅₀ 又は IC₅₀ 値が検出

N : EC₅₀ 又は IC₅₀ 値が検出不可

* : その他

○ : 試験対象としたが、まだ実施していない作用モード

— : 試験対象としなかった作用モード

第1段階生物試験結果

死亡が認められない濃度範囲において、エストロゲン作用を示す雄の肝臓中ビテロゲニン濃度の高値は認められなかったため、エストロゲン作用を持つことは確認できなかった。